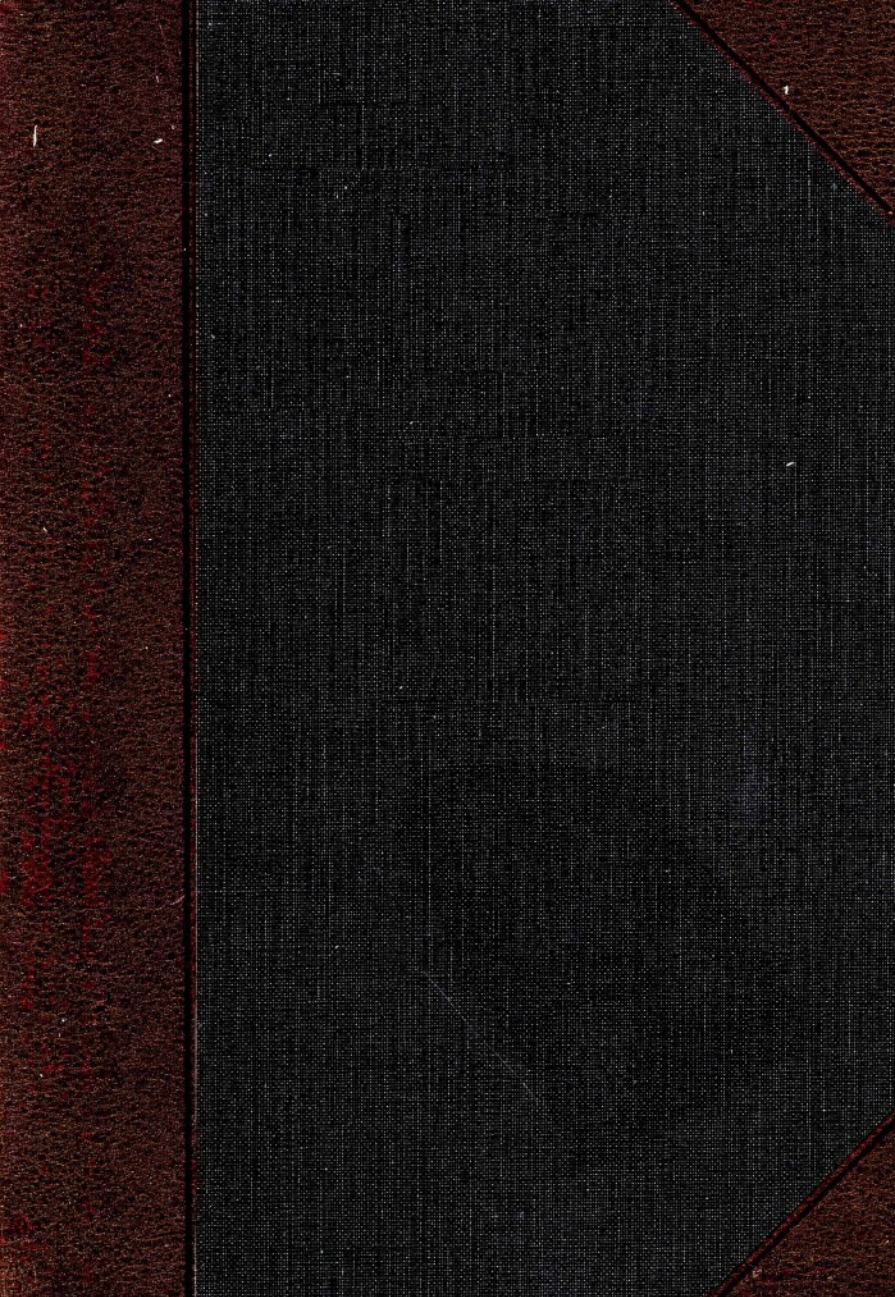




阿部重孝
城戸幡太郎
佐々木秀一
篠原助市
編輯

教育學辭典

第二卷

岩波書店刊行

昭和十二年一月三十日印刷
昭和十二年二月五日第一刷發行

教育學辭典 第二卷

定價七圓五拾錢

編輯者代表

城戸橋太郎

發行者

東京市神田區一ツ橋二丁目三番地
岩波茂雄

印刷者

東京市牛込區谷加賀町一丁目
菊地眞次郎

東京市神田區一ツ橋二丁目三番地

發行所

岩波書店

電話九段(三)二八七・二八八
振替口座東京二六二四八〇〇

小店所販物中、萬一不完全な品（落丁・風丁等）がありました節は、御手数下も洩れなく御申下さる事を御願ひ致します。たとひ御届後でありましても早速御取替致します。

版權所有



大日本印刷 山本製本

第二卷 執筆者

(五十音順)

東京帝國大學助教授	青木誠四郎	東京高等師範學校教授	石山脩平
文華高等女學校學監	秋葉馬治	東京帝國大學教授	伊藤吉之助
東京科學博物館長	秋保安治	文部省圖書監修官	井上越
文部省學官	阿部重孝	東京帝國大學教授	今井登志喜
東京帝國大學教授	阿部正直	成田中學校長	今澤慈海
東北學院高等學部教授	阿部吉雄	東京帝國大學教授	文學博士 入澤宗壽
東方文化學院東京研究所助手	安倍能成		岩下壯一
京城帝國大學教授	有澤廣巳	文部省體育課長	醫學博士 岩原拓
東京帝國大學助教授	栗田賢三	東京帝國大學助教授	上村福幸
東京高等師範學校教授	安東壽郎	東京帝國大學教授	內野台嶺
東京帝國大學文學部助手	飯田晃三	東京文理科大學教授	梅津八三
東京帝國大學助教授	池上鎌三	東京官學校授業囑託	埼玉縣師範學校附屬小學校主事 梅根悟
東京文理科大學助手	石三次郎	東京帝國大學教授	東京帝國大學教授 大內兵衛
武藏野學院醫官	伊佐喜久雄	九州帝國大學教授	文學博士 法學博士 大澤章
法政大學講師	石川謙	東京帝國大學教授	文學博士 大西克禮
臺北高等學校教授	石黑魯平	水戸高等學校教授	大場千秋
青山學院教授	石谷信保	大原社會問題研究所員	大林宗嗣
東北帝國大學教授	文學博士 石原謙	陸軍士官學校教授	大村桂巖

東北帝國大學助教授	大脇義一
文化學院教授	岡 邦 雄
東京帝國大學助教授	岡部彌太郎
奈良女子高等師範學校教授	小川 正 行
東京府立松澤病院醫員	奥 田 三 郎
鹽見理化學研究所長	小倉金之助
廣島文理科大學教授	長 田 新
早稻田大學講師	小田內通敏
東京帝國大學文學部新聞研究室主任	小野 秀 雄
東京女子高等師範學校教授	尾 上 八 郎
日本放送協會教養部長	小尾 範 治
東北帝國大學教授	小 山 鞆 繪
東京帝國大學教授	河合榮治郎
東京帝國大學助教授	海 後 宗 臣
東京文理科大學助教授	加 藤 仁 平
東京高等師範學校名譽教授	嘉納治五郎
國學院大學豫科教授	川 又 武
武藏野學院長	菊 池 俊 諦
東京帝國大學教授	岸 田 日 出 刀
法政大學教授	城 戸 幡 太 郎
	木 場 深 定
文學博士	

日本勞働科學研究所員	文學博士	桐 原 葆 見
東京高等師範學校教授		日下部重太郎
東京音樂學校講師		草 川 宣 雄
東京高等師範學校附屬小學校訓導		熊井甚太郎
九州帝國大學教授		藏 內 數 太
東京女子高等師範學校教授		倉 橋 惣 三
同附屬幼稚園主事		黑 田 亮
京城帝國大學教授	文學博士	小 泉 丹
慶應義塾大學教授	文學博士	河 野 省 三
國學院大學學長	文學博士	高 山 岩 男
京都帝國大學文學部講師		古 賀 行 義
廣島文理科大學教授		小 西 重 直
京都帝國大學名譽教授	文學博士	小 林 信 明
東京高等師範學校助教授	文學博士	小 林 澄 兄
慶應義塾大學教授		小 宮 豐 隆
東北帝國大學教授		齋 藤 清 衛
	文學博士	佐 久 間 鼎
九州帝國大學教授		佐 々 木 秀 一
東京高等師範學校教授		佐 藤 熊 治 郎
同附屬小學校主事		佐 藤 信 衛
東京商科大學助教授		佐 藤 弘

奈良女子高等師範學校教授	眞田幸憲
文部省教育調查部長	文學博士 篠原助市
東京文理科大学教授	柴垣鼎太郎
文部省建築課長	島芳夫
京都帝國大學法學部講師	清水郁子
東京女子高等師範學校教授	文學博士 下田次郎
東京女子高等師範學校長	下村壽一
帝國學士院會員	文學博士 新村出
東京帝國大學文學部助手	鈴木舜一
廣島文理科大学講師	皇至道
東京帝國大學航空研究所技手	高木貫一
東京帝國大學助教授	高木貞二
東北帝國大學教授	高瀬代次郎
龍谷大學教授	高野弘正
東北帝國大學教授	高橋里美
東京市麹町區教育相談所囑託	高橋俊乘
文部省督學官	竹田俊雄
京城帝國大學教授	龍山義亮
文部省社會教育官	田花爲雄
	千葉敬止

東北帝國大學教授	文學博士 千葉胤成
東京府立高等學校教授	寺田范三
東京帝國大學教授	戸坂潤
法政大學講師	戸田貞三
法政大學講師	留岡清男
文部省社會教育官	長澤規矩也
日本女子大學校教授	中田俊造
東京女子高等師範學校教授	生江孝之
文部省督學官	成田順
廣島文理科大学教授	西晉一郎
法政大學講師	西尾實
京都帝國大學助教授	西谷啓治
京都帝國大學教授	野上俊夫
東京帝國大學教授	野上豊一郎
法政大學講師	醫學博士 橋田邦彦
京都帝國大學教授	波多野完治
法政大學講師	波多野精一
京城帝國大學總長	林達夫
文部事務官	文學博士 速水滉
文部省督學官	日田權一
國民精神文化研究所囑託	平塚益德

愛育會調查會委員
 東北帝國大學教授
 廣島文理科大學教授
 國民精神文化研究所員
 東京商科大學教授
 文部省(教育調查部)囑託
 東京文理科大學教授
 東北帝國大學助教授
 東京帝國大學文學部助手
 東京女子高等師範學校教授
 東京帝國大學文學部助手
 東方文化學院東京研究所助手
 司法書記官
 東京控訴院檢事
 東京府立高等學校教諭
 滋賀縣師範學校教諭
 京城帝國大學教授
 九州帝國大學教授
 浦和高等學校教授
 日本女子大學校兒童研究所囑託
 東京市立學校兒童教育
 健康相談所教育主任

醫學博士	廣瀨 興
文學博士	廣瀨 嘉雄
伏見 猛彌	福島 政雄
藤本 幸太郎	船越 源一
保科 孝一	細谷 恒夫
細谷 俊夫	堀 七藏
牧野 信之助	牧野 巽
正木 亮	岡 正雄
松田 健	松月 秀雄
松瀨 泰巖	松村 武雄
松本 金壽	松本 彦三郎
三上 義夫	

橫濱高等工業學校教授
 東京帝國大學名譽教授
 東北帝國大學助教授
 日本放送協會囑託
 文部省(實業學務局)囑託
 東京帝國大學文學部助手
 東北帝國大學教授
 文部省(教育調查部)囑託
 東京文理科大學學長
 東京文理科大學教授
 大正大學教授
 東京女子高等師範學校教諭
 東京高等師範學校講師
 東京高等學校教授
 愛育會囑託
 東京高等師範學校教授
 東京帝國大學教授
 大使館一等書記官
 東京帝國大學醫學部講師
 上智大學教授

法學博士	三井 透
美濃部 達吉	三宅 剛一
三宅 武郎	宮島 清
宗像 誠也	村上 典嗣
村上 俊亮	森岡 常藏
諸橋 轍次	矢吹 慶輝
文學博士	山形 寬
山口 察常	山口 真衛
山下 德治	山下 俊郎
山田 榮	矢內原 忠雄
柳澤 健	柳澤 健
吉益 脩夫	吉滿 義彦

東京文理科大學助手

東京美術學校教授

國民精神文化研究所助手

東京帝國大學教授

依田新

和田三造

渡邊幾治郎

渡邊誠

文學博士

和辻哲郎

編輯者

阿部重孝

城戸幡太郎

佐々木秀一

篠原助市

編輯事務擔當

城戸幡太郎

留岡清男

澤田慶輔

校正

岩波書店校正部



目次

(執筆署名なきは総目次)

ケ

ケイ	清水郁子	三三	藝術教育	(林 達夫)	六〇	決定心理学	(千葉胤成)	四二
敬	(西 晋一郎)	三六	藝術教育運動	(松月秀雄)	六三	決定論と非決定論	(吉満義彦)	四三
経筵	(寺田龍三)	三八	藝術社會學	(林 達夫)	六三	決闘	(伏見猛彌)	四三
慶應義塾大學	(飯田見三)	三八	藝術政策	(林 達夫)	六三	ゲーテ	(小西重直)	四四
敬學館(二本松)	(石川 謙)	三八	形象	(城戸橋太郎)	六四	假病	(伊佐喜久雄)	四四
敬虔主義	(山下徳治)	三八	京城帝國大學	(飯田見三)	六五	ゲーリー・システム	(阿部重孝)	四六
經驗的教育學	(入澤宗壽)	三八	敬身堂	(石川 謙)	六五	ケルシェンシュタイナー	(小林澄兒)	四七
敬虔派	(佐藤信樹)	三九	計數器	(山下徳治)	六六	權威と服従	(吉満義彦・留岡清男)	四七
經驗論	(石川 謙)	三九	形態心理学	(小宮豊隆)	六七	檢閲	(中田俊造)	四八
稽古館(彦根)	(矢内原忠雄)	四〇	藝道	(西尾 實)	六七	玄惠法印	(石川 謙)	四八
經濟と教育	(正木 亮)	四〇	藝道教育	(正木 亮)	六八	喧嘩	(青木誠四郎)	四九
警察	(宮島 清)	四二	刑務官練習所	(長田 新)	六八	研究所	(宗像誠也)	五〇
警察講習所	(小倉金之助)	四三	啓蒙時代の教育	(小山新繪)	六八	言語	(新村 出)	五一
計算器	(佐藤康治郎)	四三	啓蒙思潮	(中田俊造)	六九	健康相談所	(廣瀬 興)	五一
形式教科と實質教科	(藏内教太)	四四	劇場	(佐久間 鼎)	六九	言語學	(新村 出)	五一
形式社會學及び關係學	(和辻哲郎)	四五	ゲシュタルト心理学	(入澤宗壽)	七〇	言語教育	(城戸橋太郎)	五二
形式主義と實質主義	(上村福幸)	四六	ゲスナー	(福島政雄)	七〇	言語教授	(保科孝一)	五二
形式的段階	(高橋里美)	四六	血液型	(橋田邦彦)	七一	言語社會學	(城戸橋太郎)	五二
形式的陶冶と實質的陶冶	(皇 至道)	四六	結核	(伊佐喜久雄)	七二	言語主義	(石山脩平)	五三
形而上學	(大西克禮)	四六	結核療養所	(廣瀬 興)	七二	言語障礙	(吉益脩夫)	五三
ケイ・シツ・ツル・ワース		四六	缺陷兒童	(吉満義彦)	七二	言語心理學	(城戸橋太郎)	五三
藝術		四六	決疑法	(伊佐喜久雄)	七二	言語地理學	(石黒魯平)	五三
		四六	月經	(吉益脩夫)	七二	言語哲學	(城戸橋太郎)	五三
		四六	結婚相談	(伊佐喜久雄)	七二	現實學校	(伏見猛彌)	五四
		四六	飲食兒童	(松月秀雄)	七二	現實主義	(小山新繪)	五四
		四六	ケッセラー	(伏見猛彌)	七二	現實性	(大場千秋)	五四
		四六	ゲッテンゲン大學		七二	原始民族的教育		五四

源氏物語	(斎藤清庵)	六六	郷學	(石川謙)	六六	講習會	(阿部正直)	七六
現象	(高橋里美)	六九	公學費	(阿部重孝)	六五	公衆學校	(宮島清)	七九
現象學	(高橋里美)	六九	公學校	(飯田晃三)	六八	工手學校	(宮島清)	七九
現象學的教育學	(篠原助市)	六三	交換教授	(飯田晃三)	六八	口述法	(廣田幸憲)	七九
原子論	(佐藤信憲)	六三	校規	(船越源一)	六八	工場學校	(宮島清)	七九
建築	(林達夫・岸田日出刀)	六三	孝經	(牧野興・加藤仁平)	六八	興讓館	(石川謙)	七〇
創造	(高野弘正)	六六	公教育	(下村壽一)	六九	工場法	(宮島清)	七二
顯微鏡	(岡邦雄)	六六	硬教育と軟教育	(松澤泰麿)	七〇	公序良俗	(正木亮)	七三
ケンブリッジ大學	(村上俊亮)	六九	工業學校	(宮島清)	七〇	公私立學校認定	(村上俊亮)	七三
ケンブリッジ編制法	(伏見猛彌)	六九	工業教育	(秋保安治)	七〇	構圖	(山形寛)	七三
憲法	(渡邊幾治郎・美濃部達吉)	六〇	工業專門學校	(飯田晃三)	七〇	構成的心理學	(速水澁)	七四
權利	(正木亮)	六二	工業大學	(高木貫一)	七六	構造心理學	(石川謙)	七四
			航空	(佐々木秀一)	七七	鄉村	(柴垣郡太郎)	七四
			校訓	(和田三造)	七八	校地	(小田内通敏)	七五
			工藝學校	(宮島清)	七八	交通	(海後宗臣)	七六
			工藝教育	(宮島清)	七八	皇典講究所	(山下俊郎)	七八
			後見		七〇	行動	(村岡典嗣)	七八
			考古學	(大場千秋)	七〇	皇道	(柴垣郡太郎)	七八
			口語と文語	(三宅武郎)	七二	講堂	(宮島清)	七九
			工作教授	(山形寛)	七二	高等園藝學校	(龍山義亮)	七九
			鑛山學校	(宮島清)	七二	高等學校	(龍山義亮)	七九
			鑛山專門學校	(宮島清)	七二	高等學校令	(龍山義亮)	七九
			孔子	(內野台嶺)	七三	講道館	(嘉納治五郎)	七三
			考試	(牧野興)	七三	弘道館(水戸)	(石川謙)	七三
			校締	(石谷信保)	七六	高等工業學校	(宮島清)	七四
			廻町教授所	(石川謙)	七六	高等工藝學校	(宮島清)	七四
			校舍	(柴垣郡太郎)	七六	高等蠶絲學校	(宮島清)	七五
						高等師範學校	(日田權一)	七五
語彙	(新村出・石黒吾平・松本金壽)	六三						
講	(石川謙)	六四						
業	(矢吹慶輝)	六五						
構案法		六五						
行爲	(高山岩男)	六五						
行爲能力	(正木亮)	六六						
公園	(中田俊造)	六六						
校園		六七						
講演會	(阿部正直)	六七						
校外教授	(宗像誠也)	六七						
校外生活	(松田健)	六八						
公會堂	(中田俊造)	六八						
合科教授	(日田權一)	六八						

替宗	(寺田范三)	ハ
国歌	(田邊尚雄)	ハ
國家教育學	(長田 新)	ハ
國家社會主義	(河合榮治郎・伏見猛彌)	ハ
國家主義	(河合榮治郎)	ハ
國家の發展と教育	(長田 新)	ハ
國旗	(松田 健)	ハ
克己及び克己主義	(島 芳夫)	ハ
五典	(川又 武)	ハ
古典語	(野上豊一郎)	ハ
言葉調子	(佐久間 鼎)	ハ
諺	(佐久間 鼎)	ハ
五人組	(石川 謙)	ハ
誤謬	(高橋里美)	ハ
五品	(川又 武)	ハ
個別教育	(飯田晃三)	ハ
駒澤大學	(梅根 恒)	ハ
コメニウス	(倉橋惣三)	ハ
子守	(倉橋惣三)	ハ
子守學校	(細谷俊夫)	ハ
曆	(西 晋一郎)	ハ
五倫・五常	(古賀行義)	ハ
ゴルトン	(川又 武)	ハ
五禮	(飯田晃三)	ハ
コレージュ	(平塚益徳)	ハ
コレット	(村上俊亮)	ハ
コロンビア大學	(伏見猛彌)	ハ
コーン	(伏見猛彌)	ハ
コンディヤック	(林 達夫)	ハ
コント	(山下徳治)	ハ
近藤眞琴	(海後宗臣)	ハ
コンドルセー	(渡邊 誠)	ハ
コンプレックスメソッド	(山下徳治)	ハ
コンペーレ	(渡邊 誠)	ハ
サ		
在外指定學校	(村上俊亮)	ハ
在郷軍人	(小尾純治)	ハ
採光法	(柴垣鼎太郎)	ハ
祭酒	(小林信明・石川 謙)	ハ
差異心理學	(山下俊郎)	ハ
財政及び財政學	(大内兵衛)	ハ
採燧法	(柴垣鼎太郎)	ハ
最澄	(高橋俊乘)	ハ
ザイフェルト	(入澤宗壽)	ハ
裁縫教材史	(成田 順)	ハ
裁縫教授	(成田 順)	ハ
催眠術	(古益脩夫)	ハ
作業科	(三井 透)	ハ
作業學校	(三井 透)	ハ
作業教授	(三井 透)	ハ
作業研究	(鈴木舜一)	ハ
作業團體	(鈴木舜一)	ハ
作業療法	(奥田三郎)	ハ
作文教授	(奥田三郎)	ハ
佐久間象山	(加藤仁平)	ハ
櫻井ちか	(海後宗臣)	ハ
サクラメント	(岩下壯一)	ハ
坐禪	(福島政雄)	ハ
作曲	(草川宜雄)	ハ
雜誌	(留岡清男・細谷俊夫)	ハ
佐藤一齋	(高瀬代次郎)	ハ
佐藤信淵	(石川 謙)	ハ
サナトリウム	(石川 謙)	ハ
作法	(佐々木秀一・石川 謙)	ハ
作用心理學	(千葉胤成)	ハ
ザルヴ・ハルク	(松月秀雄)	ハ
ザルツマン	(入澤宗壽)	ハ
サレルノ大學	(石山脩平)	ハ
澤柳政太郎	(山下徳治)	ハ
三角法	(小倉金之助)	ハ
産業革命	(宮島 清)	ハ
産業主義	(宮島 清)	ハ
産業心理學	(桐原保見)	ハ
三行	(川又 武)	ハ
參考書		
産兒制限	(留岡清男・山下俊郎)	ハ
三社託宣	(石川 謙)	ハ
算術教授	(安東壽郎)	ハ
算術の心理	(松本彦三郎)	ハ
三種の神器	(加藤仁平)	ハ
三席	(高橋俊乘)	ハ
三船	(高橋俊乘)	ハ

シ

サンクトバルバラ案	(阿部重孝)	九八
三段論法	〃	〃
三德	(川又 武)	九八
讀美歌	(石谷信保)	九八
三寶	(矢吹慶輝)	九八
三民主義	(諸橋轍次)	九八
師	(諸橋轍次)	九八
詩	(野上豊一郎)	九八
寺院教育	(高橋俊乘)	九八
ジエームズ	(城戸橋太郎)	九三
シェーラー	(細谷恒夫)	九三
シエリング	(皇 至道)	九三
シエンケンドルフ	(小林澄兄)	九三
ジエンティール	(渡邊 誠)	九三
シオニズム	〃	〃
四恩	(矢吹慶輝)	九三
齒科醫學專門學校	(飯田晃三)	九三
視覚	(山下俊郎)	九三
史學	(今井登志喜)	九三
詩學	(大西克禮)	九三
視學	(村上俊亮)	九三
自覺	(細谷恒夫)	九三
自學	(佐藤藤治郎)	九三
視學委員	(村上俊亮)	九三
視學制度	(阿部重孝)	九三
シカゴ大學	(村上俊亮)	九三
自我と他我	(木場深定)	九三
時間配當	(宗像誠也)	九三
時間割	(小川正行)	九三
色彩	(山下俊郎)	九三
色盲	(山下俊郎)	九三
司業	(小林信明)	九三
試験	(宗像誠也・高瀬代次郎)	九三
試験場	〃	〃
思考	(城戸橋太郎)	九三
思考心理學	(大脇義一)	九三
自己活動	(佐藤藤治郎)	九三
自己教育	(小川正行)	九三
司祭	(岩下肚一)	九三
自殺	(伊佐喜久雄)	九三
師氏	(小林信明)	九三
資治通鑑及び綱目	(阿部吉雄)	九三
示兒篇	(阿部吉雄)	九三
時事問題	(熊井甚太郎)	九三
時習館	(石川 謙)	九三
自修書及び参考書	(細谷俊夫)	九三
私塾	〃	〃
四書	(諸橋轍次)	九三
辭書	(石黑養平・石川 謙)	九三
自敘傳	(西尾 實・留岡清男)	九三
関谷費	(城戸橋太郎)	九三
司成館	(石川 謙)	九三
史蹟名勝天然紀念物調査委員會(村上俊亮)	(小林信明)	九三
自然科學	(三宅剛一)	九三
慈善事業	〃	〃
自然主義	(牧野信之助・長田 新)	九三
自然哲學	(三宅剛一)	九三
思想	(安倍龍成)	九三
思想畫	(松岡正雄・竹田俊雄)	九三
思想善導	(小尾範治)	九三
思想問題	(河合榮治郎)	九三
時代錯誤	(林 達夫)	九三
自宅教授	(倉橋惣三)	九三
自治	〃	〃
七自由科	(皇 至道)	九三
實科	〃	〃
實科學校	〃	〃
實學主義	(長田 新)	九三
實科高等女學校	〃	〃
實業科	(宮島 清)	九三
實業學校	(宮島 清)	九三
實業學校令	(宮島 清)	九三
實業教育	(宮島 清)	九三
實業教員養成所	(日田權一)	九三
實業教材史	(石川 謙・宮島 清)	九三
實業專門學校	〃	〃
實業補習教育	(宮島 清)	九三
實業補習教育主事	(村上俊亮)	九三
失業問題	(河合榮治郎)	九三
ジッキンガー	(宗像誠也)	九三
簇	(石川 謙・山下俊郎)	九三

實驗學校	(飯田晃三)	九三	兒童期	(山下俊郎)	九七	釋迦	一〇〇
實驗教育學	(上村福幸)	九四	兒童虐待防止	(留岡清男)	九八	社會運動	一〇〇
實驗教授學		九四	兒童共和國		九八	社會衛生	一〇三
實驗社會學	(藏内數太)	九四	兒童語	(松本金壽)	九八	社會科	一〇三
實驗心理學	(高木貞二)	九五	兒童社會學	(城戸橋太郎)	九八	社會科學	一〇三
實驗法	(眞田幸憲)	九五	自動車學校	(宮島 清)	九八	社會學	一〇三
實驗教・童子教	(石川 謙)	九五	兒童心理學	(城戸橋太郎)	九八	社會過程	一〇三
失語症狀	(吉益備夫)	九六	兒童中心主義		九八	社會教育 (小尾範治・石川 謙・諸橋徹次)	一〇六
實在論	(小山綱繪)	九六	兒童文學	(松村武雄)	九八	社會教育官	一〇三
實質教科		九七	兒童保護	(生江孝之)	九八	社會教育主事	一〇三
實質主義		九七	兒童問題	(留岡清男・依田 新)	九八	社會型	一〇三
實質的陶冶		九七	兒童友愛運動	(宗像誠也)	九八	社會事業	一〇三
實驗主義		九七	指讀	(松本金壽)	九八	社會事業協會	一〇三
實驗論	(佐藤信衛・城戸橋太郎)	九七	支那教育史 (寺田范三・牧野 謙・阿部吉雄)	九七	社會事業調查會	一〇三	
叱責	(青木誠四郎)	九七	柴田鳩翁	(石川 謙)	九七	社會主義	(河合榮治郎・城戸橋太郎) 一〇五
實踐道德	(高山岩男)	九七	自發性	(波多野完治)	一〇〇	社會心理學	一〇七
實踐倫理		九七	師範學校	(日田權一)	一〇〇	社會性 (兒童の)	一〇九
嫉妬	(青木誠四郎)	九七	師範教育令	(日田權一)	一〇四	社會政策	(河合榮治郎) 一〇四
實物教授		九四	慈悲	(福島政雄)	一〇四	社會生物學	(戸田貞三) 一〇四
實務學校	(宮島 清)	九四	事物計算主義	(安東壽郎)	一〇五	社會調查	(戸田貞三) 一〇四
失明豫防	(秋葉馬治)	九四	思辨的教育學	(藤原助市)	一〇五	社會的教育學	(山極眞衛) 一〇四
質問 (兒童の)	(松本金壽)	九五	シール	(新村 出)	一〇六	社會哲學	(戸坂 潤) 一〇五
實用主義		九五	資本主義	(河合榮治郎・山下德治)	一〇六	社會民主主義	(河合榮治郎・留岡清男) 一〇五
指導	(小川正行)	九六	市民學校	(皇 至道)	一〇八	社會問題	一〇五
指導案		九六	市民教育	(田花爲雄)	一〇八	社會力	(戸田貞三) 一〇四
兒童畫	(竹田俊雄)	九六	下田歌子	(留岡清男)	一〇九	社會連帶	(戸田貞三) 一〇六
兒童學	(城戸橋太郎)	九七	シモン	(飯田晃三)	一〇九	社學	(寺田范三) 一〇五
兒童から	(伏見猛彌)	九六	シャイブナー	(宗像誠也)	一〇九	舍監	(村上俊亮) 一〇五

弱視者	(梅津八三)	〇三	習慣	(黒田 亮)	〇六	宗派	(矢吹慶輝)	一〇一
釋放者保護	(正木 亮)	〇三	自由教育	(長田 新)	〇六	宗派學校	(平塚益徳)	一〇三
社交	(林 達夫)	〇五	宗教改革	(石原 謙)	〇七	重要美術品等調査委員會	(村上俊亮)	一〇四
社講	(石川 謙)	〇五	宗教學	(波多野精一)	〇七	主觀と客觀	(木場深定)	一〇四
ジャコト	(飯田晃三)	〇五	宗教教育	(大村桂屋)	〇七	儒教	(山口啓常・加藤仁平)	一〇六
寫眞	(細谷俊夫)	〇五	宗教社會學	(藏内數太)	〇七	授業時數	(飯田晃三)	一〇六
寫生畫	(松岡正雄)	〇五	宗教心理學	(大場千秋)	〇七	授業日數	(飯田晃三)	一〇六
シャツキー	(山下徳治)	〇五	宗教制度調査會	(村上俊亮)	〇七	授業料	(船越源一)	一〇六
ジャッド	(波多野完治)	〇五	宗教哲學	(渡多野精一)	〇七	塾	(牧野 巽)	一一〇
シャトールク運動	(飯田晃三)	〇五	宗教と教育	(林 達夫)	〇八	祝祭日	(船越源一)	一一三
ジャーナリズム	(戸坂 潤)	〇五	宗教法	(下村壽一)	〇八	宿題	(成田 順)	一一三
シャムの教育	(飯田晃三)	〇五	集合學校	(飯田晃三)	〇八	手藝教授	(高橋俊乘)	一一四
シャルレルマン	(山田 榮)	〇六	十三經	(諸橋轍次)	〇八	綜藝種智院	(山形 寛)	一一五
シャルロットテンブルクの特殊學級	(宗像誠也)	〇六	集産主義	(河合榮治郎)	〇八	手工教材史	(山形 寛)	一一五
ジャン・パウル	(栗田賢三)	〇六	修辭學	(石山脩平)	〇八	手工教授	(安東壽郎)	一一六
主意的教育	(伏見猛彌)	〇六	修辭學校	(田花爲雄)	〇八	珠算	(阿部吉雄)	一一六
手淫	(伊佐喜久雄)	〇六	十字軍	(小林信明)	〇七	朱子	(加藤仁平)	一一六
自由	(島 芳夫)	〇六	十四博士	(河合榮治郎・城戸幡太郎)	〇七	朱子學派	(栗田賢三・城戸幡太郎)	一一三
シュヴァルツ	(石 三太郎)	〇六	自由主義	(海後宗臣)	〇七	主情說	(伏見猛彌)	一一三
獸醫學校	(飯田晃三)	〇六	修身教育	(河合榮治郎・城戸幡太郎)	〇七	主情的教育	(伏見猛彌)	一一三
自由科	(田花爲雄)	〇六	修身教材史	(石川 謙・海後宗臣)	〇七	シュタイナー	(伏見猛彌)	一一四
自由畫	(日田權一)	〇六	修身教授	(山下俊郎)	〇七	シュタイン	(皇 至道)	一一四
就學	(飯田晃三)	〇六	住宅	(嘉納治五郎)	〇七	主知說	(栗田賢三)	一一五
就學分時制	(松田 健)	〇七	集團教育と個別教育	(岩下壯一)	〇七	主知的教育	(伏見猛彌)	一一六
修學旅行	(細谷俊夫)	〇六	柔道	(石川 謙)	〇七	術語	(佐久間 鼎)	一一七
自由學校協同體	(川又 武)	一〇	修道院	(川又 武)	一〇	出席の督促	(阿部重孝)	一二七
			十二月往來			出席簿	(船越源一)	一二六
			十一教			出版事業	(小野秀雄・長澤規矩也)	一二六

目次

シムルム	(梅根 悟)	一三三	松下村塾	(廣瀬 豊)	一三三	少年鑑別所		一三三
シュテルン(ウィリアム)	(波多野完治)	一三三	小學校	(阿部重孝)	一三三	少年教護院	(伊佐喜久雄・菊池俊壽)	一三七
シュテルン(エーリヒ)	(小林澄兄)	一三三	小學校令	(船越源一)	一三三	少年教護法	(菊池俊壽)	一三七
シュトイ	(山極眞衛)	一三三	商業學校	(宮島 清)	一三六	少年刑務所	(青木誠四郎)	一三六
修道	(福島政雄)	一三四	商業教育	(藤本幸太郎)	一三六	少年審判所	(正木 亮)	一三六
シュトリ・ンベル	(石 三次郎)	一三五	商業專門學校		一三六	少年團	(小尾範治)	一三六
シュビス	(伏見猛彌)	一三五	商業大學	(飯田晃三)	一三六	少年文學		一三六
ジュフェルン	(皇 至道)	一三五	稱號	(飯田晃三)	一三六	少年法	(正木 亮)	一三六
シムランガー	(上村福幸)	一三六	商工會議所	(宮島 清)	一三六	少年労働	(鈴木舜一)	一三六
シムペーナー	(上澤宗壽)	一三六	象山書院	(阿部吉雄)	一三六	商賈往來	(石川 謙)	一三六
趣味	(城戸橋太郎)	一三六	常識	(小山精繪)	一三六	賞罰	(宗像誠也)	一三六
シムミット(カール)	(皇 至道)	一三六	庫序	(牧野 巽)	一三六	昌平費	(高瀬代次郎)	一三六
シムミット(ヨーゼフ)	(長田 新)	一三六	小乘		一三六	昌平坂學問所		一三六
シムライエルマッヘル	(篠原助市)	一三六	商船學校	(宮島 清)	一三六	書儀及び家範	(阿部吉雄)	一三六
シムルツェ(オットー)	(宗像誠也)	一三六	商船專門學校		一三六	助教法	(伏見猛彌)	一三六
シムルツェ(ヨハネス)	(皇 至道)	一三六	情報	(野上俊夫)	一三六	職業	(鈴木舜一)	一三六
手話法		一三六	情報教授	(佐藤熊治郎)	一三六	職業衛生	(桐原保見)	一三六
巡回文庫	(今澤嘉海)	一三六	消息往來	(石川 謙)	一三六	職業學校	(宮島 清)	一三六
荀子	(内野百嶺)	一三六	消息詞	(石川 謙)	一三六	職業教育	(宮島 清)	一三六
順應	(山下俊郎)	一三六	上智大學	(飯田晃三)	一三六	職業指導	(岡部彌太郎)	一三六
書院	(阿部吉雄)	一三六	情緒		一三六	職業紹介	(鈴木舜一)	一三六
情意検査	(山下俊郎)	一三六	象徵	(城戸橋太郎)	一三六	職業人の養成・資格・任用	(留岡清男・奥田三郎)	一三六
唱歌學校	(皇 至道)	一三六	象徵主義	(林 達夫・倉橋惣三)	一三六	職業心理學	(桐原保見)	一三六
唱歌教授		一三六	商店法	(宮島 清)	一三六	職業調査	(鈴木舜一)	一三六
小學	(阿部吉雄)	一三六	衝動	(城戸橋太郎)	一三七	職業輔導	(桐原保見)	一三六
小學	(牧野 巽)	一三六	聖德太子	(城島政雄)	一三七	植物園	(中田俊造)	一三六
獎學院	(高橋俊榮)	一三六	小兒期精神病	(伊佐喜久雄)	一三七	植物學	(堀 七藏)	一三六
獎學制度	(飯田晃三)	一三六	小兒疾患	(廣瀬 興)	一三七	植民學校	(宮島 清)	一三六

植民地の教育	(柳澤 健)	二三	心學道統	(石川 謙)	二五	身體發育	(岩原 拓)	二九〇
食慾	(山下俊郎)	二三	神學校	(平探益徳)	二五	神智學	(西谷啓治)	二九三
女子教育(下田次郎・石川 謙・牧野賢)	二三	新學校	(伏見猛徳)	二五	人智學	(高橋里美)	二九五	
女子高等師範學校	(日田權一)	二三	進化論	(小泉 丹・黒田亮・城戸橋太郎)	二五	神道	(河野省三)	二九五
敘述	(西尾 實)	二三	新カント學派	(石坂 潤・高山岩男・山下徳治)	二五	人道及び人道主義	(牧野信之助)	二九六
書相學	(城戸橋太郎)	二三	進級	(小山頼繪・細谷恒夫)	二五	神道の教派	(河野省三)	二九六
書道	(尾上八郎)	二三	新舊教共同學校	(宗像誠也)	二五	進徳館	(石川 謙)	二九七
初等教育	(阿部重孝・石川 謙)	二三	神宮皇學館	(細谷俊夫)	二五	信念及び確信	(島 芳夫)	二九八
シ・ベンハウエル	(石 三太郎)	二三	神經系統	(橋田邦彦・吉益脩夫)	二五	神皇正統記	(加藤仁平)	二九九
シ・ホノツト	(海後宗臣)	二三	神經質	(吉益脩夫)	二五	神祕説	(西谷啓治)	二九九
庶民教育	(石川 謙)	二三	親權及び後見	(正木 亮)	二六	人物主義	(石原 謙)	三〇〇
シラー	(小西重直)	二三	新ケンブリッヂ案	(阿部重孝)	二六	新ブラトン學派	(小野秀雄・細谷俊夫)	三〇一
ジラール	(飯田晃三)	二三	塵劫記	(三上義夫)	二六	新聞	(皇 至道)	三〇二
自力と他力	(福島政雄)	二三	人口問題	(有澤廣巳・小田内通敏)	二六	人文科	(皇 至道)	三〇三
私立學校	(森岡常藏)	二三	信仰問答書		二六	新聞學科	(小野秀雄)	三〇四
私立大學	(飯田晃三)	二三	仁齋學派	(加藤仁平)	二六	人文主義	(石原 謙・長田 新)	三〇四
自律と他律	(吉滿義彦)	二三	心算	(河野省三)	二六	人文主義と實學主義	(皇 至道)	三〇七
事例研究	(戸田貞三)	二三	人種學	(小泉 丹)	二六	人文地理學	(佐藤 弘)	三〇八
示例法	(小川正行)	二三	心術	(島 芳夫)	二六	新ヘーゲル主義	(小山頼繪)	三〇九
指話法		二三	人種問題	(矢内原忠雄)	二六	ジンメル	(藏内數太)	三一〇
仁	(牧野信之助)	二三	尋常小學校	(船越源一)	二六	親鸞	(福島政雄)	三一〇
心學	(石川 謙)	二三	神職	(城戸橋太郎・留岡清男)	二六	心理學	(城戸橋太郎)	三一〇
神學	(波多野精一)	二三	新人文主義	(皇 至道)	二六	心理學實驗場	(高木貞一)	三一〇
人格及び人格主義	(島 芳夫)	二三	新スコラ學派	(吉滿義彦)	二六	心理學的教育學	(上村福幸)	三二八
人格學及び人格的心理學	(古賀行義)	二三	新生兒	(山下俊郎)	二六	心理主義	(伊藤吉之助)	三二九
心學講舍	(石川 謙)	二三	身體檢查	(岩原 拓)	二六	新理想主義	(小泉 丹)	三二九
進學指導		二三	人體測定	(岩原 拓)	二六	人類學		三三〇
人格的教育學	(松月秀雄)	二三				神話及び神話學	(松村武雄・城戸橋太郎)	三三〇